



2015年社会保障・人口問題基本調査

結婚と出産に関する全国調査

第15回出生動向基本調査

〔独身の方への調査票〕

(平成27(2015)年 6月 1日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、最終ページにご覧いただけます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は **18歳以上 50歳未満の独身の方**に答えていただくためのものです。
- 平成27(2015)年6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことごとを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 3595-2984 内線4474 / 4472

<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄

都道府県	
保健所	
地域コード	

問1 あなたの(1)出生年月を記入し、(2)性別の欄は、あてはまる番号に○をつけてください。また、(3)中学校を卒業したとき、(4)最後の学校卒業後、お仕事を持ったときに居住していた場所をお答えください。

(1) 出生年月		(2) 性別	(3) 中学校を卒業したときに 住んでいたところ	(4) 最後の学校卒業後、仕事を 持ったときに住んでいたところ※1
1. 昭和	____年__月	1. 男	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県の他の市区町村 4. 他の都道府県 都道 府県	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県の他の市区町村 4. 他の都道府県 都道 府県
2. 平成		2. 女		
3. 西暦				

※1 卒業後しばらくお仕事を持たなかった場合や仕事に就いたことがない場合、あるいは在学中からお仕事を持っていた場合は、卒業直後の居住地をお答えください。
※海外にいらっしゃった方は、「4」の下線の欄に国名をご記入ください。

問2 あなたが(1)最後に卒業した(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は(3)卒業したときの年齢を下線の欄に記入してください。

(1) 卒業した(または在学中の) 学校	(2) 卒業・在学の別
あてはまる番号1つに○	あてはまる番号に○
1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 ()	1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 () 歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)

問3 あなたとあなたのご両親のお仕事についておたずねします。あなたについてはa、bの2つの時期について、また、(ご両親)親については現在について、それぞれ(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数(ご両親については種別)のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者	おたずねの時期	(1)おつとめの状況	(2)職 種	(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)
		1 2 3 4 5 6 正 規 の 職 員 パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 派 遣 ・ 嘱 託 ・ 契 約 社 員 自 営 業 主 ・ 家 族 従 業 者 ・ 内 職 無 職 ・ 家 事 学 生	1 2 3 4 5 6 7 主 として 農 林 漁 業 農 林 漁 業 以 外 の 自 営 業 専 門 職 管 理 職 事 務 職 販 売 ・ サ ー ビ ス 職 工 場 などの 現 場 労働	1 2 3 4 5 6 7 1 10 30 100 300 1000 人 人 人 人 人 以上 官 公 庁
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後※	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む	(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける	(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける
	b. 現在			

※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

【(ご両親)親がご健在の方のみ記入】

お父さま	お母さま	現在	現在
c.	d.	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7
		あてはまる番号1つに○	あてはまる番号1つに○
		1 大手企業 2 中小企業 3 官公庁	1 大手企業 2 中小企業 3 官公庁

● 現在 **お仕事をもちの方** にかがいます。お仕事をもちでない方は次の 問5 へ進んでください。

問4 あなたの現在のお仕事について、次の(1)～(4)には該当する数字を記入し、(5)については、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

あなたのお仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)																
(1) 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 ※残業時間も含めた平均的な労働時間をご記入ください。															
(2) 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均 <input type="text"/> 日															
(3) 現在の仕事の勤続または継続年数※1	およそ <input type="text"/> 年 ※1年未満の場合は、1年としてください。															
(4) 先月(5月)の収入	約 <input type="text"/> 万円 ※事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(5)も同様です。															
(5) 昨年(平成26年)の年収	<table border="0"> <tr> <td>税込み</td> <td>0. 1～99万円</td> <td>3. 300万円台</td> <td>6. 600万円台</td> <td>9. 900万円台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 100万円台</td> <td>4. 400万円台</td> <td>7. 700万円台</td> <td>10. 1000万円以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 200万円台</td> <td>5. 500万円台</td> <td>8. 800万円台</td> <td>11. なし</td> </tr> </table>	税込み	0. 1～99万円	3. 300万円台	6. 600万円台	9. 900万円台		1. 100万円台	4. 400万円台	7. 700万円台	10. 1000万円以上		2. 200万円台	5. 500万円台	8. 800万円台	11. なし
税込み	0. 1～99万円	3. 300万円台	6. 600万円台	9. 900万円台												
	1. 100万円台	4. 400万円台	7. 700万円台	10. 1000万円以上												
	2. 200万円台	5. 500万円台	8. 800万円台	11. なし												

※1 休業からの復帰や社内の業務異動後からではなく、その勤め先に勤め始めた時期からの年数をお書きください。

● **すべての方** に、(ご両)親やごきょうだいのことにかがいます。

問5 あなたの(ご両)親の(1)出生年と年齢、(2)現在のあなたとの同居/別居、(3)最後に卒業した学校についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	お父さま	お母さま
(1) 出生年	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年 生まれ (満_____歳) ※満年齢の記入はご健在の方のみで結構です	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年 生まれ (満_____歳) ※満年齢の記入はご健在の方のみで結構です
(2) 現在のあなたとの同居/別居	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた
(3) 最後に卒業した学校 ※ 旧制の高等小学校、小学校は中学校卒としてください。旧制の高等女学校は高校卒としてください。	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 (_____)	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 (_____)

問6 あなたの兄弟姉妹の数を () 内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

(1) きょうだい数	(2) きょうだいの内訳				(3) 結婚しているきょうだい	(4) 子どもがいるきょうだい
あなたを含めて合計 (_____)人	兄(_____)人 いない場合は○を記入	姉(_____)人 いない場合は○を記入	弟(_____)人 いない場合は○を記入	妹(_____)人 いない場合は○を記入	(_____)人 いない場合は○を記入	あなた以外に (_____)人

● ここからは、すべての方に結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考えをうかがいます。

問7 今のあなたにとって、結婚することにはなにか利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。「1.利点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって結婚することは	右の回答欄に番号を記入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済的に余裕がもてる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分の子どもや家族をもてる 6. 性的な充足が得られる 7. 生活上便利になる 8. 親から独立できる 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10. その他 () 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">最大の利点</td> <td style="width: 50%;">第二の利点</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)		最大の利点	第二の利点		
	回答欄 (番号を記入)									
最大の利点	第二の利点									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う 										

問8 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。「1.利点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって独身生活は	右の回答欄に番号を記入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. 金銭的に裕福 4. 住宅や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がなく、気楽 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 () 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">最大の利点</td> <td style="width: 50%;">第二の利点</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)		最大の利点	第二の利点		
	回答欄 (番号を記入)									
最大の利点	第二の利点									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う 										

問9 下のワクの中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下のワクから選び、回答欄に記入してください。

- 【女性の方へ】 (1)あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 (2)理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄	(1) 理想とする人生	(2) 実際になりそうな人生

- 【男性の方へ】 パートナー(あるいは妻)となる女性には、どのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄	パートナー(あるいは妻)となる女性に望む人生

上の回答欄に番号を記入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 ()

● ひきつづき、すべての方にうかがいます。

問10 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑬のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

※本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

	(左の考え方に)			
	1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 か 対 と	4 ま っ た く 反 対
	それぞれ番号1つに○			
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持ってかまわない	1	2	3	4
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
⑬ 女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	1	2	3	4

問11 あなたの身近な状況について、おたずねします。以下の①～④について、右の欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない（いなかった）場合は、5に○をつけてください。

	1 あ て は ま る	2 あ ど ち は ま か る と い え ば	3 あ ど ち は ま か ら な い え ば	4 あ て は ま ら な い	5 該 当 し な い
		それぞれ番号1つに○			
① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（よくある）	1	2	3	4	—
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う	1	2	3	4	5
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	1	2	3	4	5
④ 同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多い	1	2	3	4	5

● このページでは、結婚経験をはじめ個人的なことについてうかがいます。
 ※ 立ち入った内容も含まれますが、社会関係の時代的な変化をとらえ、施策を考える上で大切な資料となります。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただけますようお願いいたします。

問12 あなたはこれまでに結婚（届け出をしたもの）をしたことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。結婚経験がある方は、最初の結婚についての年月と、これまで経験した結婚回数を下線の欄に記入してください。

(1) 結婚経験の有無	最初の結婚について		(4) 結婚回数
	(2) 結婚生活を始めた年月	(3) 同居をやめたとき、または死別をした年月	
1. ない 2. ある（離別した） 3. ある（死別した）	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月	(__) 回

問13 あなたはこれまでに同棲の経験（特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活したこと）がありますか。あてはまる番号に○をつけ、該当する方は同棲をした（している）時期（年齢）を記入してください。

(1) 同棲の経験	(2) 同棲の時期 （一番最近の経験について）
1. ない 2. 以前はあるが現在はしていない 3. 現在している	(__) 歳から (__) 歳まで

問14 あなたはこれまでに(1)異性と性交渉をもったことがありますか。ある場合には、一番最近の経験では(2)避妊を行いましたか、また(3)その方法はなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 異性との性交渉の経験	(2) 避妊の実行 （一番最近の経験について）	(3) 避妊の方法
1. ある 2. ない	1. 避妊をした 2. 避妊をしなかった	1. コンドーム 4. 性交中絶（膈外射精） 2. オギノ式・基礎体温法 5. その他 3. ピル（経口避妊薬） ()

問15 あなた（男性の場合は妻やパートナー）がこれまでに生んだお子さんについて、あてはまる番号に○をつけ、該当するお子さんの出生年月を記入してください。

(1) これまでに生んだお子さんの数	(2) お子さんの出生年月	※4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。
0. 子どもはいない	1人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月 出産	
1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 (__) 人	2人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月 出産	
	3人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月 出産	

問16 あなたには現在、(1)交際している異性がありますか。(1)の欄のあてはまる番号に○をつけてください。また、その回答の後の矢印にしたがって、(2) 交際の希望、(3) 交際相手との結婚希望（最も親しい相手）、(4) 結婚予定の年月のいずれかについて回答してください。

(1) 異性との交際の状況	(2) 異性との交際の希望	問18へ
1. 交際している異性はいない 2. 友人として交際している異性がいる 3. 恋人として交際している異性がいる 4. 婚約者がある	1. 交際を望んでいる 2. とくに異性との交際を望んでいない	
(4) 結婚予定は [1. 平成 2. 西暦] _____年____月頃	(3) (最も親しい) 交際相手との結婚の希望	
	1. 結婚したいと思っている 2. とくに結婚は考えていない	

● 現在 **交際相手がいる方**（前問(問16(1))で2～4に○をつけた方）にうかがいます。
いない方は次の問18へ進んでください。

問17 (最も親しい) 交際相手とは、いつ頃どのようなきっかけで知り合いましたか。(1)知り合った年月を記入し、(2)知り合ったきっかけのあてはまる番号に○をつけてください。また、交際相手の(3)年齢、(4)最後に卒業した(または在学中の)学校、(5)おつとめの状況についてお答えください。

(1)知り合った年月	(2)知り合ったきっかけ <small>あてはまる番号1つに○</small>	交際相手について		
		(3)年齢	(4)卒業(在学中)の学校 <small>あてはまる番号1つに○</small>	(5)おつとめの状況 <small>あてはまる番号1つに○</small>
1. 昭和 2. 平成 3. 西暦 ____年__月頃	1. 学校で 2. 職場や仕事の関係で 3. 幼なじみ・隣人関係 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで 5. 友人や兄弟姉妹を通じて 6. 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む) 7. 結婚相談所で 8. 街なかや旅先で 9. アルバイトで 10. その他 ()	() 歳	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 正規の職員 2. パート・アルバイト 3. 派遣・嘱託・契約社員 4. 自営業主・家族従業者・内職 5. 無職・家事 6. 学生

● **すべての方**に子どもについての希望をうかがいます。

問18 あなたは、(1)子どもは何人くらいほしいですか。また、(2)子どもの男女の組合せには希望がありますか。あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に人数を記入してください。また、子どもを希望する方は、(3)最初の(次の)お子さんを持ちたい年齢を下線の欄に記入してください。

(1) 希望する子どもの数		(2) 男女の組合せの希望	(3) 最初の(次の)お子さんを持ちたい年齢
0. 子どもはいらない→問20へ 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 ()人	→	男女の組合せに、 1. 希望がある→ { 男の子()人 } { 女の子()人 } 2. とくに希望はない	あなたが () 歳くらいのとき

● 前問(問18(1))で、**希望する子どもの数が1人以上と答えた方(1～5に○をつけた方)**にうかがいます。

問19 1人以上の子どもをほしいとお考えになる理由はなんですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あてはまる番号すべてに◎をつけてください。	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから 2. 子どもを持つことで周囲から認められるから 3. 子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから 4. 子どもは老後の支えになるから 5. 子どもは将来の社会の支えになるから 6. 子どもは夫婦関係を安定させるから 7. 好きな人の子どもを持ちたいから 8. 交際相手や親など周囲が望むから 9. その他 ()
-----------------------	--

● **すべての方** にかがいます。

問20 あなたの生活スタイルについておたずねします。下の①～⑦のそれぞれの生活スタイルがあなたご自身にあてはまるかどうかについて、右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	(左の考え方に)			
	1 あてはまる	2 あどち まかとい えば	3 あどち まかとい えば	4 あては まらな い
	それぞれ番号1つに○			
① 仕事以外で、国内旅行や海外旅行によく出かける	1	2	3	4
② 衣服や持ちものには、こだわりが強い方だ	1	2	3	4
③ 欲しいものを買ったり、好きなことに使えるお金が少ない	1	2	3	4
④ 気軽に一緒に遊べる友人が多い	1	2	3	4
⑤ 生きがいとなるような趣味やライフワークを持っている	1	2	3	4
⑥ 一人の生活を続けても寂しくないと思う	1	2	3	4
⑦ 【職業をお持ちの方のみ】 仕事のために、私生活を犠牲にすることがよくある	1	2	3	4

問21 あなたのお子さんには、どの程度の教育を受けさせたいですか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。お子さんがいない場合も、いと仮定して、(1)男の子、(2)女の子それぞれについてお答えください。

(1) 男の子の教育		(2) 女の子の教育	
あてはまる番号1つに○		あてはまる番号1つに○	
1. 中学校	5. 大学	1. 中学校	5. 大学
2. 高校	6. 大学院	2. 高校	6. 大学院
3. 専修・専門学校(高卒後)	7. その他	3. 専修・専門学校(高卒後)	7. その他
4. 短大・高専	()	4. 短大・高専	()

● **すべての方** にかがいます。

問22 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. いずれ結婚するつもり | → 問29へ |
| 2. 一生結婚するつもりはない | |

問23 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | |
|-------------------------------|
| 1. ある程度の年齢までには結婚するつもり |
| 2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない |

● 引きつぎ、「いずれ結婚するつもり」の方 にかがいます。

問24 それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。

- | |
|--|
| 1. 一年以内に結婚したい
2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい
3. まだ結婚するつもりはない |
|--|

問25 あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

自分()歳ぐらいのときに 相手()歳ぐらいの人と結婚したい

問26 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に1ずつつ0をつけてください。

① 相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
② 相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③ 相手の収入などの経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④ 相手の人から	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤ 相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥ 共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦ 自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧ 家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

問27 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に0をつけてください。1に0をつけた方は、右側のワクの中から具体的な障害を2つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に0	一年以内に結婚するとしたら	右の回答欄に番号を記入	1. 結婚生活のための住居 2. 結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用） 3. 親の承諾 4. 親との同居や扶養 5. 学校や学業上の問題 6. 職業や仕事上の問題 7. 年齢上のこと 8. 健康上のこと 9. その他（ ）	回答欄 （番号を記入）	
	1. 障害になることがあると思う 2. 障害になることはないと思う			最大の障害	第二の障害

● ひきつづき、「いずれ結婚するつもり」の方 にかがいます。

問28 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12を記入してください）。

- 右の回答欄に番号を記入
- 結婚するにはまだ若すぎるから
 - 結婚する必要性をまだ感じないから
 - 今は、仕事（または学業）にうちこみたいから
 - 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
 - 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
 - 適当な相手にまだめぐり会わないから
 - 異性とうまくつき合えないから
 - 結婚資金が足りないから
 - 結婚生活のための住居のめどがたないから
 - 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
 - その他（ ）
 - すでに結婚が決まっている

回答欄 (番号を記入)		
最大の理由	第二の理由	第三の理由

● 「一生結婚するつもりはない」と答えた方（問22で2に○をつけた方）にかがいます。
「いずれ結婚するつもり」の方はここで終わりです。末尾のご意見の欄にお進みください。

問29 現在のお気持ちは別として、これまでに「いずれ結婚するつもり」と思ったことはありますか。

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問30 今後、(1)あなたのお考えが「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。1～3を選んだ方は、(2)変わるとする場合、その理由として考えられるものを右下のワクの中から3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- | (1) 結婚に対する考えの変化の可能性 | |
|---------------------|----------------------|
| どれか一つの番号に○ | 今後、結婚に対するお考えが変わる可能性は |
| | 1. あると思う |
| | 2. あるかもしれない |
| | 3. たぶんないと思う |
| | 4. ないと思う |

- | (2) 「いずれ結婚するつもり」に変わる場合の理由 | |
|---------------------------|--|
| 右の回答欄に番号を記入 | <ol style="list-style-type: none"> 雇用・労働条件が改善する 収入や貯蓄が増える 子育て支援策が充実する 家事・育児を男女で分けあう社会になる 家族を養う責任を男女ともに担う社会になる 結婚に関する法律や制度が変わる 異性と出会う機会が増える 結婚したいと思う相手が現れる 子どもができる 自分や家族の個人的事情が変わる その他（ ） |

回答欄 (番号を記入)	
最大の理由	
第二の理由	
第三の理由	

● 以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

皆様が日頃の生活を通じて、導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じている施策があれば、下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。なお、過去の結果については、下記に掲載しています。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs15/>

§ 調査についてのご説明

◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は15回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学の立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

【結婚されている方への調査票】（黄色の調査票）

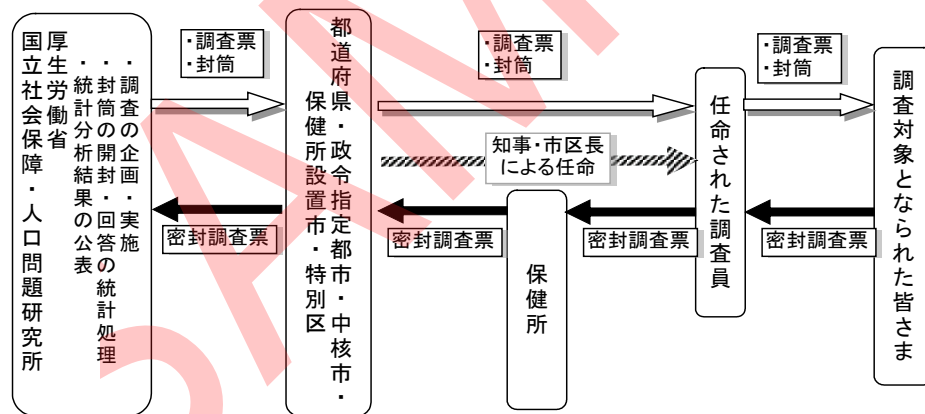
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

【独身の方への調査票】（緑色の調査票）

—— 18歳以上50歳未満の独身の方（男性および女性）すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省に所属する国立の研究機関）が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs15/>